

元祖
アミノ酸

天然発酵抽出液ベースの葉面散布肥料
品質向上、収量増加、健全生育で
農家の収入増加につなげたい!
バイオスティミュラント

オルガミン®

農林水産省登録番号：輸第 105994 号



500L 葉液×2 回分
1L: ¥3,960-(税込)



500L 葉液×10 回分
5L: ¥17,050-(税込)



500L 葉液×20 回分
10L: ¥31,900-(税込)



日川白鳳



シャインマスカット

保証成分量 (%)

- ・水溶性苦土.....5.30
- ・水溶性ほう素0.70
- ・水溶性マンガ ン0.28

使用されている効果発現促進剤 (%)

- ・亜鉛.....0.65
- ・モリブデン.....0.039

その他の含有成分

- 天然アミノ酸 ●糖類 ●有機酸
- 硫黄 ●カルシウム ●酵素



ご利用方法



インタビュー

輸入・販売元：株式会社パルサー・インターナショナル
〒193-0825 東京都八王子市城山手 1-31-1
TEL:042-666-1662 FAX:042-662-5557
URL: <http://www.pulsar.co.jp>

元祖アミノ酸 オルガミン

オルガミンは新鮮な魚丸ごと、糖蜜をメインに熱処理や化学処理をせずに天然発酵させ、さらに植物が必要とする微量元素をバランスよく加えて作られた天然アミノ酸葉面散布肥料です。

植物が必要とする約 18 種類のアミノ酸(アルギニン・ヒスチジン・リシン・プロリン・グリシン・グルタミン酸等)と酵素、核酸、マグネシウム、ビタミン、微量元素(マンガン・ホウ素・亜鉛・モリブデン・硫黄)が含まれており、このアミノ酸群や微量元素が、成長の過程で必要とされる酵素の源になるものです。

特長

- ・発酵の原料に新鮮な魚を丸ごと使っているため、栄養分が豊富。
- ・熱処理や化学処理をしていない天然の形のアミノ酸なので植物への吸収が早く、速やかに効果が現れます。
- ・アミノ酸、微量元素に特化した肥料(N・P・Kほとんど0)で生育ステージ問わず使えます。
- ・作物の増収、品質向上。(玉張り、色付き、食味向上、日もちの向上など)
- ・植物の低温・高温・霜・乾燥・日照不足・長雨・病気などの障害に対する回復促進、抵抗力増加。
- ・果樹の場合は、2~3年継続してご使用いただきますと、大幅に樹勢が改善されます。
- ・弊社アミノ酸肥料は40年以上の歴史があり、世界各国でも使われているロングセラー商品です。

使い方

- ・使用前によく振ってください。
- ・1000倍に希釈し、茎葉部にたっぷり散布してください。葉散時の混用散布をおすすめします。(薄めた液は使い切ってください。)
- ・溶液栽培の場合で灌水にご利用になる場合は5000倍以上の希釈倍率でご利用ください。(溶液かけ流しの場合のみ使用可能)
- ・野菜の播種後、育苗期、定植後や果樹の定植後に500~1000倍希釈液で灌水すると根の張りがとても良くなります。

作物別使用方法

作物	散布回数・時期	効果
りんご	展葉期~収穫前まで15日に1回の間隔で(8回以上)	玉張り向上・糖度向上・着色向上
桃・すもも	開花~収穫1ヶ月前まで1000倍、その後収穫15日前に2000倍で散布(6回以上)※収穫直前まで1000倍で使用すると熟期が遅れる可能性があります	秀品率向上・花ぶるい減少・過熟果軽減
おうとう	開花始め~収穫1~2週間前まで毎回の防除暦に沿って(5回以上)	果梗部強化による落果減少・うるみ果軽減
ぶどう	発芽直前~収穫前まで防除暦に沿って(8回~10回以上)	発芽促進・状態の良い葉(色、形、厚み)
柿	芽だし後~収穫前まで防除暦に沿って(4回以上)	遅霜・高温・長雨被害減少
トマト・キュウリ ナス・ピーマン	育苗期1~3回・定植時1回・定植~収穫終了まで葉散の度に混用	玉肥大向上・収量増加・食味向上 花落ち減少・秀品率向上
イチゴ	定植時1回・定植~収穫終了まで葉散の度に混用	状態の良い葉(色・形・厚み)
メロン・スイカ	育苗期1~3回・定植時1回・開花期1回・交配後葉散の度に混用	樹勢の強化・回復
カボチャ	苗の時期から葉散の度に混用散布	異常気象に対する抵抗力向上
葉物類	育苗期1~2回・定植時1回・定植~収穫まで葉散の度に混用	食味向上・生育促進・病障害後の回復促進
豆類	播種後1回・芽だし~収穫まで葉散の度に混用	収量増加・食味向上・豆数増加
ねぎ・にんにく	育苗期1~2回・定植時1回・その後~収穫まで葉散の度に混用	玉張り向上・食味向上・生育促進
芋類	葉散の度に混用散布	玉張り向上・収量増加
水稲	育苗期1回(播種5~10日後)・移植後1回・穂ばらみ期1回・出穂期1回	食味向上・収量増加
花(切花・鉢花)	苗の時期から葉散の度に散布	基部強化・採花本数増加・日持ち向上

果樹では貯蔵養分蓄積期に散布しておくこと、翌年の良い芽出し向上につながります。

使用上の注意

- ほとんどの農薬と混用可能ですが、石灰硫黄合剤との混用は避けてください。
- 原液の場合の使用期限はございませんが、希釈した液は1週間以内に使い切ってください。
- 使用後は元の容器に密閉し、直射日光を避け、冷涼な場所に保管してください。



桃・ぶどうへのオルガミンの使い方

農林水産省登録番号：輸第 105994 号



桃

使用倍率

1000 倍

効果

- * 果梗部が強くなることによる落果の減少 * 着色・糖度向上
- * 状態の良い葉(厚み、色等) * 玉張り・日持ち・秀品率向上
- * 過熟果減 * 樹の強化、回復 * 遅霜被害軽減 * 根張り向上
- * 3年継続して使用して頂くと、大幅に樹勢が改善されます。

使用時期

防除の際薬剤と混用散布で開花始め～収穫1ヶ月間前まで1000倍、その後収穫15日前に2000倍で散布。

※収穫直前まで1000倍で散布すると熟期が遅れる可能性があります。

(シーズン中6回～10回の散布を推奨)

その後収穫後の葉散にも混用で1回散布。

ぶどう

使用倍率

1000 倍

効果

- * 状態の良い葉(おちよこつ葉、厚み、色等) * 花ぶるい減少
- * 玉張り・糖度向上 * 秀品率向上 * 芽揃い向上 * 貯蔵性向上
- * 樹の強化、樹勢回復 * 遅霜被害軽減 * 根張り向上
- * 3年継続して使用して頂くと、大幅に根張り、樹勢が改善されます。

使用時期

SSに薬剤と混用散布で発芽直前～収穫期まで防除に沿って散布。

(シーズン中8回～10回の散布を推奨)

ボルドー散布の際にも混用可能。

その後収穫後の葉散にも混用で1回散布。

桃・ぶどうへのオルガミン年間コストはどのくらい？

オルガミンを1反歩の桃・ぶどうへ1年間使用した場合にかかる金額を山梨の使用例を基に下記に算出致しました。

桃へSSで散布した場合

1回に必要な農薬散布量：約400L～500L(樹が繁茂する前は散布量400L)

1回に必要なオルガミン散布量：約400ml～500ml(1000倍希釈)

使用回数：6回+お礼肥の時期の散布1回=計7回

オルガミン必要量：合計3.3L

オルガミン1Lのコスト=約3,000円 ※大容量ボトルの場合

1反歩にかかるコスト：3.3L×約3,000円=約10,000円

ぶどうへSSで散布した場合

1回に必要な農薬散布量：約300L

1回に必要なオルガミン散布量：約300ml(1000倍希釈)

使用回数：8回+お礼肥の時期の散布1回=計9回

オルガミン必要量：合計2.7L

オルガミン1Lのコスト=約3,000円 ※大容量ボトルの場合

1反歩にかかるコスト：2.7L×約3,000円=約8,000～10,000円



ご利用方法



インタビュー

使用上の注意

- ほとんどの農薬と混用可能ですが、石灰硫黄合剤との混用は避けてください。
- 原液の場合の使用期限はございませんが、希釈した液は1週間以内に使い切ってください。
- 使用後は元の容器に密閉し、直射日光を避け、冷涼な所に保管してください。

保証成分(%) ・水溶性苦土…5.30 ・水溶性ほう素…0.70 ・水溶性マンガ…0.28



Pulsar International
株式会社バルザー・インターナショナル

桃・ぶどうでのオルガミン使用事例



オルガミン使用者の紹介で、2016年の春先から日川白鳳に使い始めた園地です。
農家のコメント：まず始めに気付いたのが葉の違い、色が良く、舟型になり、上に立っている。
紹介してもらった知人に「大分付けてもちゃんと玉が張る」と言われていたため、今年は特に余計に付けたが、ちゃんと玉が張り、ほとんど16玉中心で収穫できた。
2017年も梅雨の時期に雨が少なく特に早生系は全体的に小玉傾向だったが、周りが言うような小玉は少なく、使用してから安定生産に役立っている。N・P・Kがほとんど含まれないアミノ酸葉面散布肥料なので、どの生育ステージに使えるのも良い。山梨県勝沼町



農家のコメント：オルガミンを使い出してまず見えるのが葉の違い。葉がとてもしっかりし、小さめのお椀型になり、葉が立つ。使いだして年々効果が増し、味の上がりも周りと比べ早かった、花ぶるいも起こりにくくなり、雨も少ない年でも周りと比べ玉張りも良く、糖度も尻で18度以上あり、良い房が収穫出来ている。天候不順の中でも安定生産が出来ており、出荷先からの評判も良い。山梨県笛吹市

オルガミンの芽揃いへの使い方(山梨)

ここ数年オルガミンを使用している農家の方々より、芽の揃いが良くなったという声が多いので、使用方法例をご紹介します。

事例① 山梨県韮崎市

散布資材:オルガミン 100 倍 + 展着剤(アプローチ) 1,000 倍
散布量: 60L / 1 反歩
散布方法:アーチ噴口で動噴散布
散布時期:2022 年 2 月 25 日(標高約 470m)
農家コメント:発芽の揃いの目的で散布し、実際に芽揃いの向上に繋がった。

事例② 山梨県韮崎市

散布資材:オルガミン 100 倍 + 展着剤(アプローチ) 1,000 倍
散布量: 20L / 1 反歩
散布方法:アーチ噴口で背負い動噴にて散布
散布時期:2022 年 2 月 25 日(標高約 541m)
農家コメント:芽が揃うという口コミだったので試しに散布した。芽も揃い、シアナミド系を使わないので体の負担も軽くて良い。

事例③ 山梨県笛吹市

散布資材:オルガミン 1000 倍 + テランフロアブル
散布量:約 200L / 1 反歩
散布方法:SS にて散布
散布時期:2022 年 3 月中旬(標高約 250m)
※農家コメント:ここは山梨の早場産地で周辺農家はシアナミド系や発芽促進の資材を使っているが、芽出し時期はオルガミン区が 2-3 日程遅れるが開花の時期になると他の園地と変わらず、芽の揃いが良く、ぶどうの仕上がりも良いので 5 年程前から発芽促進資材などは使用していない。

散布風景



※発芽目的で使用されている農家様も前年以前よりオルガミンを
を通年散布で使用されております。

オルガミンの芽揃いへの使い方(長野)

事例① 長野県中野市

散布資材:オルガミン 15 倍

散布量:15L / 1 反歩

散布方法:背負い動噴にて散布

散布時期:2022 年 3 月 10 日頃(水あげ後) 標高約 430m

農家コメント:葉面散布剤なので発芽に対してはそんなに期待してなかったが、発芽が凄くて芽かきが大変なぐらい吹いた。

事例② 長野県中野市

11 月加温の超早期ハウス

散布資材:オルガミン 15 倍

散布量 700ml / 1 反歩

散布方法:霧吹きにて散布

散布時期:シアナミド系資材散布後の発芽していない 芽に対して散布

農家コメント:シアナミド系資材散布後、発芽していない芽に散布した所、動きもしないような芽から発芽してきた。



オルガミン散布前
シアナミド系資材散布後



ブドウの芽揃いに関するインタビュー動画

長野県中野市、清水さん



長野県小布施町、矢島さん



オルガミンご注文はこちらから

トマト・キュウリ・ナスへのオルガミンの使い方

登録番号：輸 第 105994 号

保証成分(%) 水溶性苦土・・・5.30 水溶性ほう素・・・0.70

水溶性マンガン・・・0.28

トマト



使用倍率

1000 倍

- * 状態の良い葉(厚み、色等) * 樹勢の強化、回復
- * 玉の肥大向上 * 収量増加 * 食味向上 * 秀品率向上
- * 色つき向上 * 遅霜被害の軽減

薬剤散布の時に毎回混用散布で定植～収穫終了まで
通年1ヶ月に2～4回のペースで散布。
(各季節による農薬散布のタイミングに合わせて)
定植前後の苗の灌水に混用すると根張りが違います。

使用時期

キュウリ



使用倍率

1000 倍

効果

- * 状態の良い葉(厚み、色等) * 樹勢の強化、回復
- * 果実肥大向上 * 収量増加 * 食味向上 * 秀品率向上
- * 遅霜被害の軽減

薬剤散布の時に毎回混用散布で定植～収穫終了まで
通年1ヶ月に2～4回のペースで散布。
(各季節による農薬散布のタイミングに合わせて)
定植前後の苗の灌水に混用すると根張りが違います。

使用時期

ナス



使用倍率

1000 倍

効果

- * 状態の良い葉(厚み、色等) * 樹勢の強化、回復
- * 玉の肥大向上 * 収量増加 * 食味向上 * 秀品率向上
- * ボケ果減少 * 遅霜被害の軽減

薬剤散布の時に毎回混用散布で定植～収穫終了まで
通年1ヶ月に2～4回のペースで散布。
(各季節による農薬散布のタイミングに合わせて)
定植前後の苗の灌水に混用すると根張りが違います。

使用時期

特長

- ①熱処理や化学処理をしていない天然発酵のアミノ酸 = 酵素の源
- ②発酵原料は丸々の魚と糖蜜
- ③チツソ・リン・カリの含有量ほとんどなし、どの生育ステージにも使用可能
- ④マグネシウムや微量元素配合
- ⑤バイオスティミュラント商品
- ⑥30年以上国内外で実績のある葉面散布シリーズ

使用上の注意

- ほとんどの農薬と混用可能ですが、石灰硫黄合剤との混用は避けてください。
- 原液の場合の使用期限はございませんが、希釈した液は1週間以内に使い切ってください。
- 使用後は元の容器に密閉し、直射日光を避け、冷涼な所に保管してください。

トマト・キュウリ・ナスへのオルガミンの使用例



数回にわたる農林水産大臣賞賞状
及び数々の受賞リボン 茨城県



新宿 小田急百貨店のトマトコーナー
一番早く完売される 九州屋の完熟トマト



無処理 オルガミン使用

オルガミンを使用したトマトは
実がしっかりと詰まり、水に沈みます。



千葉県山武市の大玉トマト作り農家



ボケ果が減り、収量増。悪天候でも良品
質なナスが、安定生産出来た。山梨県



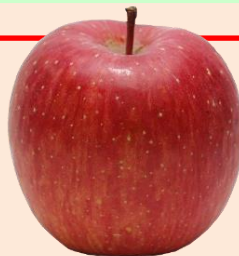
りんご・梨・柿へのオルガミンの使い方

登録番号：輸 第 105994 号

保証成分(%) 水溶性苦土・・・5.30 水溶性ほう素・・・0.70

水溶性マンガン・・・0.28

りんご



使用倍率

1000 倍

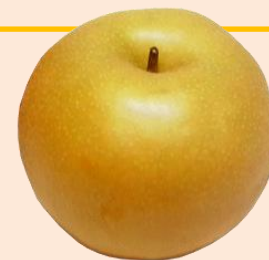
効果

- * 玉の肥大 * 糖度向上 * 着色向上 * 秀品率向上
- * 収量増加 * ツル割れ減少 * 樹勢の強化、回復
- * 果梗部強化 * 状態の良い葉 * 遅霜被害の軽減
- * 翌シーズンの為の花芽形成向上
- * 3年継続して使用して頂くと、大幅に樹勢が改善されます。

使用時期

SSに薬剤と混用散布で展葉期～収穫前まで
1ヶ月に2回のペースで散布。
(シーズン中約8回以上の散布を推薦。)
その後収穫後の葉散(お礼肥)にも混用で散布。

梨



使用倍率

1000 倍

効果

- * 玉の肥大 * 糖度向上 * 果梗部強化による落果の減少
- * 秀品率向上 * 収量増加 * 樹勢の強化、回復
- * 状態の良い葉(厚み、色等) * 遅霜被害の軽減
- * 3年継続して使用して頂くと、大幅に樹勢が改善されます。

使用時期

SSに薬剤と混用散布で展葉期～収穫前まで
1ヶ月に2回のペースで散布。
(シーズン中約8回以上の散布を推薦。)
その後収穫後の葉散(お礼肥)にも混用で散布。

柿



使用倍率

1000 倍

効果

- * 玉の肥大 * 糖度向上 * 着色向上 * 収量増加
- * 秀品率向上 * 樹勢の強化、回復 * 果梗部強化
- * 状態の良い葉(厚み、色等) * 遅霜被害の軽減
- * 3年継続して使用して頂くと、大幅に樹勢が改善されます。

使用時期

SSに薬剤と混用散布で芽だし後～収穫前まで。
(シーズン中約4回以上の散布を推薦。)
その後収穫後の葉散(お礼肥)にも混用で散布。

オルガミンは新鮮な魚丸ごと、糖蜜をメインに熱処理や化学処理をせずに天然発酵させ、さらに植物が必要とする微量元素をバランスよく加えて作られた天然アミノ酸葉面散布肥料です。天然の形なので植物に素早く吸収され、効き目が早いです。植物が必要とする約18種類のアミノ酸(アルギニン・ヒスチジン・リシン・プロリン・グリシン・グルタミン酸等)と酵素、マグネシウム、核酸、ビタミン、微量元素(マンガン・ホウ素・亜鉛・モリブデン・硫黄)が含まれており、このアミノ酸群や微量元素が、成長の過程で必要とされる酵素の源になるものです。この酵素が根や茎、葉、果実の成長を促進し、さらに低温、高温等の障害に対する抵抗力を増大させます。

使用上の注意

- ほとんどの農薬と混用可能ですが、石灰硫黄合剤との混用は避けてください。
- 原液の場合の使用期限はございませんが、希釈した液は1週間以内に使い切ってください。
- 使用後は元の容器に密閉し、直射日光を避け、冷涼な所に保管してください。

りんご・梨・柿へのオルガミンの使用例



2016年12月19日
日本農業新聞に記事で
掲載されました。



オルガミン使用者の声

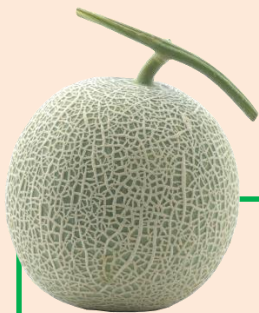
梨農家:オルガミンを3年使い、着果に無理が利くようになった、幸水で1反歩に通常9000果に対し11000~12000果、「にっこり」では通常6000果に対し9000~10000果、反収**7トン**の収穫が実現できた。栃木県宇都宮

りんご:贈答品クラスが多く採れる様になった。

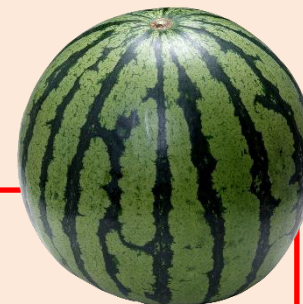
上の写真:例年3割ぐらい贈答品が足りなく、周りから仕入れていたが自家製で間に合うようになったのが、大きく利益に繋がった。青森県八戸

下の方:従来ジュース用になる物が25%位出ていたが、約5%に減少、秀品率が上がった。青森県藤崎

柿農家:玉伸びも良く箱数で3割増え、糖度が20度→23度に上がったのは驚いた。茨城県八郷



メロン・スイカへのオルガミンの使い方



メロン

1000 倍

使用倍率

効果

- * 玉伸び向上 * 収量増加 * 食味向上
- * 状態の良い葉(厚み、色等) * 樹勢の強化、回復
- * 異常高温に対する抵抗力向上 * 秀品率向上

使用時期

薬剤散布の時に混用散布で育苗期～収穫終了まで
1ヶ月に2～3回のペースで散布。
(基本は農薬散布のタイミングに合わせて)
定植前の苗の灌水に混用すると定植後の根張りが違います。

スイカ

1000 倍

使用倍率

効果

- * 玉伸び向上 * 収量増加 * 食味向上
- * 状態の良い葉(厚み、色等) * 樹勢の強化、回復
- * 異常高温に対する抵抗力向上 * 秀品率向上

使用時期

薬剤散布の時に混用散布で育苗期～収穫終了まで
1ヶ月に2～3回のペースで散布。
(基本は農薬散布のタイミングに合わせて)
定植前の苗の灌水に混用すると定植後の根張りが違います。

特長

- ・ 発酵の原料に新鮮な魚を丸ごと使っているため、栄養分が豊富。
- ・ 熱処理や化学処理をしていない天然の形のアミノ酸なので植物への吸収が早く、速やかに効果が現れます。
- ・ アミノ酸、微量元素に特化した肥料(N・P・Kほとんど0)で生育ステージ問わず使えます。
- ・ 弊社アミノ酸肥料は40年以上の歴史があり、世界各国でも使われているロングセラー商品です。



ご利用方法



インタビュー

使用上の注意

- ほとんどの農薬と混用可能ですが、石灰硫黄合剤との混用は避けてください。
- 原液の場合の使用期限はございませんが、希釈した液は1週間以内に使い切ってください。
- 使用後は元の容器に密閉し、直射日光を避け、冷涼な所に保管してください。

保証成分(%)

・水溶性苦土……………5.30 ・水溶性ほう素……………0.70
・水溶性マンガク……………0.28

農林水産省登録番号: 輪第 105994 号

メロンへ使ったオルガミン



収穫1ヶ月前のアールスメロンの写真
農家のコメント:オルガミンを使ってから作物が
丈夫になり、病気や異常気象に対する抵抗力が
ついた。玉伸び、味も良く、秀品率も良く出来て
いる。(茨城県鉾田市)

2016年夏はイタリアでも猛暑続き、この条件下で通年不可能なメロンの生産が、オルガミンを使って可能になった。

おうとうへのオルガミンの使い方



使用倍率

1000 倍

効果

- * 果梗部が強くなることによる、玉肥大、落果の減少 * 食味向上
- * 状態の良い葉(厚み、色等) * 樹勢の強化、回復
- * 秀品率向上(着色向上、うるみ果減少等)
- * 3年継続して使用して頂くと、大幅に樹勢が改善されます。

使用時期

SS等に葉剤と混用散布で開花直前から収穫2~3週間前まで通して散布。
(シーズン中約5回以上の散布を推薦。)
その後収穫後の葉散にも混用で1回散布。

* 1000倍希釈/1シーズン6回散布(推薦散布回数)

	開花直前	満開後10日	満開後20日	満開後30日	満開後40日	収穫後
散布回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目

オルガミンは、魚、糖蜜をメインに熱処理や化学処理をせず、天然発酵させ、さらに植物が必要とする微量要素をバランスよく加えて作られた天然アミノ酸葉面散布肥料です。

植物が必要とする22種類のアミノ酸(プロリン・アスパラギン酸・グルタミン酸・グリシン・アラニン等)と核酸、ビタミン、微量要素(マグネシウム・マンガン・ホウ素・亜鉛・モリブデン・硫黄)が含まれており、このアミノ酸群や微量要素が、成長の過程で必要とされる酵素の源になるものです。

この酵素が根や茎、葉、果実の成長を促進し、さらに低温、高温等の障害に対する抵抗力を増大させます。

使用上の注意

- ほとんどの農薬と混用可能ですが、石灰硫黄合剤との混用は避けてください。
- 原液の場合の使用期限はございませんが、希釈した液は1週間以内に使い切ってください。
- 使用後は元の容器に密閉し、直射日光を避け、冷涼な所に保管してください。

保証成分(%)
水溶性苦土・・・5.30
水溶性マンガン・・・0.28
水溶性ほう素・・・0.70

登録番号: 輸第 105994 号 液体微量要素複合肥料

輸入元: (株)パルサー・インターナショナル

〒193-0825 東京都八王子市城山手 1-31-1

TEL:042-666-1662

FAX:042-662-5557

URL:www.pulsar.co.jp

アメリカ(カリフォルニア)での使用例

品種:佐藤錦

開花期からオルガミンを5回散布。
処理区では、サイズも大きく、色も良く、
高品質なさくらんぼが枝もたわわに実った。

カリフォルニア州ベーカーズフィールドにて



処理区

無処理区



1反歩に対するオルガミンの資材費用は？

1回に必要な農薬散布量：約400L～500L（樹が繁茂する前は散布量400L）

1回に必要なオルガミン散布量：約400ml～500ml（1000倍希釈）

使用回数：5回＋お礼肥の時期の散布1回＝計6回

オルガミンDA必要量：合計2.9L

オルガミンDA1Lのコスト＝3,024円（税込）※5Lボトルの場合

1反歩にかかるコスト：2.9L×3,024円＝**8,770円**（税込）

輸入元：(株)パルサー・インターナショナル

〒193-0825 東京都八王子市城山手1-31-1

TEL:042-666-1662

FAX:042-662-5557

URL:www.pulsar.co.jp

オルガミン使用の青森県黒石市、K氏のさくらんぼ



近くのスーパーで買った
佐藤錦、20粒の重さ
146g



糖度
19.5



糖度
25.0



青森県、黒石市 K氏の
佐藤錦、20粒の重さ
185g



$185g - 146g = 39g$ $39 \div 146 = 26.7\%UP$ 色廻りも良く、同じ粒数で 26.7%も増加したのには感激！

この農園の、園主 K さんのオルガミンの使い方

1 回目：開花前（4 月末） 2 回目～4 回目：10 日間隔で 3 回（主に農薬散布時に混用散布）

収穫後のお礼肥も非常に大切：翌年の芽出しと着果が違います